

Yunomae

Since1962. 広報湯前

あなたとまちをつなぐ情報誌

おいしいね

8

The Monthly
Public Relations
Aug_2023
Vol.506



各地で熱戦 球磨人吉中体連夏季大会

6月、球磨人吉の各会場で球磨人吉中体連夏季大会が開かれ、湯前中生徒が空手・柔道・ソフトテニス・野球に出場。県大会出場をかけた他校の選手たちと競い合いました。

〔成績〕 ※抜粋

〔空手〕

男子個人組手

- ①石神 悠翔(3年Ⅱ古城)
- ②村山 匠人(2年Ⅱ上村)
- ③桑原 優輝(1年Ⅱ上里Ⅰ)

〔柔道〕

女子個人57kg級

- ①遠坂 日菜向(1年Ⅱ馬場)

〔ソフトテニス〕

女子個人

2回戦敗退

- 椎葉 心美(3年Ⅱ野中田Ⅲ)
- 財部 恵奈(同Ⅱ馬場)ペア
- 井手 日珂梨(2年Ⅱ植木)
- 田爪 菜奈子(同Ⅱ上里Ⅲ)ペア

〔野球〕

- ②湯前・多良木・水上合同

Baby



ひなた
田中 陽 ちゃん(R5.4.24)
純也・実美(馬場)

Message

芯のある子に育ってほしいです。



みなと
松本 湊 ちゃん(R5.5.22)
寛史・春花(下染田)

Message

友達に恵まれて、楽しく笑顔いっぱい過ごしてほしいです。



三葉
淵上 三葉 ちゃん(R5.6.3)
駿・美弓(植木)

Message

お姉ちゃん・お兄ちゃんに負けないぐらい元気な子に育ってほしいです。

INDEX

3 Photo Report
球磨人吉中体連夏季大会

4 Photo Report
第73回球磨郡民体育祭

Topics

永寶株式会社から食品寄贈 / 小・中学校合同引き渡し訓練 / 芸術鑑賞会 / ふれあい交流会 / 田植え体験 / 湯前保育園夕涼み会 / あゆみの会「七夕まつり」 / 慈光レストラン

12 人のうごき/文化協会紹介

13 湯前歴史散歩

14 MANGA NEWS

16 暮らし・健康

栄養 / 環境 / 保健 / 本の世界

18 Community

婦人会だより / B&G 活動

19 Human rights

つなぐゆのまえ 一人権のひろばー

20 上球磨地域介護事業所連絡会協力
協定締結

ゆのまえ

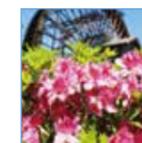
心豊かで、活力があり、未来を創造する町



町章



町の鳥「メジロ」



町の花「ツツジ」



町の木「ヒノキ」



町ホームページ



町公式LINE



町公式instagram



ソフトテニス団体 悲願の初優勝

第73回球磨郡民体育祭

5月～7月にかけて、球磨人吉の各会場で「第73回球磨郡民体育祭」が開かれ、本町からは17競技に出場。種目ごとの成績を紹介します。 ※ゴルフは10月に開催予定

〔大会結果〕 ※抜粋
〔ゲートボール〕

男子 ③湯前町
女子 ④湯前町

〔グラウンドゴルフ〕

団体男子 ④湯前町
団体女子 ⑥湯前町

〔弓道〕

団体 ①湯前町
個人一般男子

③向江富士夫(植木)

個人女子 ①向江恭子(植木)

〔ソフトテニス〕

団体 ①湯前町
個人一般男子

①高橋颯汰(馬場)・
迫田拓巳(中里2)・
荒木龍二(野中田3)・

荒木龍二(野中田3)・
岡元竜也(錦町)・
岡元竜也(錦町)ペア

個人一般女子

①荒木さくら(野中田3)・
谷口円佳(上村)ペア

個人壮年男子

①荒木龍二(野中田3)・
岡元竜也(錦町)ペア

〔柔道〕

団体 ③湯前町

〔銃剣道〕

個人 ③森下一富(馬場)

〔ボウリング〕

団体 ④湯前町

〔アーチェリー〕

団体 ②湯前町

個人 ①黒木宏丞(瀬戸口)・
③浜崎俊一(上里3)

〔四半的弓道〕

団体 ②湯前町

個人 ②米良典明(下里)

〔剣道〕

個人男子(20歳以下)

③竹崎俊也(上里3)

〔水泳(個人)〕

25歳背泳ぎ

75歳以上 ②荒木利八(野中田3)

65歳74歳 ①橋本房人(上里1)

25歳平泳ぎ

55歳64歳 ③高木堅介(上村)

45歳54歳 ③椎葉弘樹(野中田1)

25歳34歳 ①橋本康平(野中田3)

25歳バタフライ

25歳34歳 ①郷峻太(上里1)

25歳自由形

75歳以上 ②荒木利八(野中田3)

65歳74歳 ②養田龍一(上村)

45歳54歳 ②岩野昌英(下染田)

50歳背泳ぎ

65歳74歳 ①橋本房人(上里1)

50歳自由形

65歳74歳 ①養田龍一(上村)

45歳54歳 ②岩野昌英(下染田)

25歳34歳 ③林浩平(下城)

※陸上の結果は6～7面に掲載



男女ともに総合3位 球磨郡民体育祭 陸上競技

- 〔大会結果〕 ※抜粋
〔陸上男子の部〕
 29歳以下200㍓
 ⑤竹部 圭太(野中田3)
 29歳以下400㍓
 ④工藤 正明(馬場)
 29歳以下1500㍓
 ⑤福屋 陸(瀬戸口)
 29歳以下5000㍓
 ④福屋 陸(瀬戸口)

- ⑤多田 恵太(馬場)
 ⑥工藤 祐二(中里1)
 29歳以下走り高跳び
 ②洲上 駿(植木)
 ③迫田 拓巳(中里2)
 29歳以下三段跳び
 ④橋本 龍平(下村)
 29歳以下4×100㍓リレー
 ④湯前町

- 30歳代3000㍓
 ⑤恒松 翔也(下染田)
 30歳代走り幅跳び
 ②滝上 紘史(下城)
 ④平川 統大(中里2)
 30歳代砲丸投げ
 ⑤中原 広樹(下村)
 40歳代100㍓
 ③荒木 龍二(野中田3)
 40歳代1500㍓
 ⑤福屋 博樹(瀬戸口)
 40歳代走り高跳び
 ⑤荒木 龍二(野中田3)
 40歳代砲丸投げ
 ①村山 大輔(上村)
 30〜49歳4×100㍓リレー
 ②湯前町A
 ③湯前町B
 50歳代100㍓
 ⑤高木 堅介(上村)

- 50歳代1500㍓
 ④北崎 順也(上里1)
 ⑤椎葉 太(下里)
 50歳代円盤投げ
 ④椎葉 弘樹(野中田1)
 60歳以上100㍓
 ⑤龜山 哲馬(野中田2)
 50〜69歳4×100㍓リレー
 ③湯前町

〔総合成績〕

- ③湯前町
〔陸上女子の部〕
 34歳以下100㍓
 ①荒木 さくら(野中田3)
 34歳以下走り幅跳び
 ④荒木 さくら(野中田3)
 34歳以下走り高跳び
 ①福田 小百合(上染田)
 34歳以下砲丸投げ
 ⑤安井 佳奈(上里3)
 35歳以上100㍓
 ①遠坂 真由美(馬場)
 ⑤松本 麻衣(田上)
 35歳以上砲丸投げ
 ④中原 奈々(下村)
 4×100㍓リレー
 ①湯前町

〔総合成績〕

- ③湯前町

3 小中学生に世界レベルのパフォーマンスを披露

Three 芸術鑑賞会でヒップホップダンスを体感

湯前小学校・中学校の芸術鑑賞会が6月23日に湯前小学校体育館で開かれ、日本・韓国のトップダンサーが世界レベルのダンスで児童生徒らを魅了しました。

今回の鑑賞会は特定非営利活動法人カルティベイトを招き「日韓トップダンサー夢の競演『これがヒップホップダンス!』」と題して開催。ダンサーだけでなくヒューマンビートボックスのパフォーマーも参加し、会場を盛り上げました。

ヒップホップダンスの解説があった後はダンスバトルがあり、パフォーマンスを観た児童生徒らが勝敗を判定。児童生徒らは手拍子



会場を盛り上げたダンサーたち(左)と目を輝かせながら鑑賞した児童ら

や大きな歓声でダンサーを後押ししました。児童生徒らが一緒に踊る時間もあり、ヒップホップダンスの魅力を存分に体感できた鑑賞会。井上愛菜さん(6年=上里2)は「ダンスの楽しさやおもしろさに触れることができた」、松本花さん(同=田上)は「将来の夢はダンサー。皆さんのようなすてきなダンサーになれるように頑張る」と話しました。



ダンサーの直接指導でダンスを体感

4 地域の高齢者との心のふれあい

Four 湯前小学校で高齢者とのふれあい交流会を開催

6月26日、湯前小学校体育館で「ふれあい交流会」が開かれ、4年生児童と町内の一人暮らしの高齢者が参加。4種類のゲームと一緒に取り組みました。

6チームに分かれて自己紹介をした後、チーム名を決めてゲーム開始。ていねいにゲームの説明をしたり、移動のときにイスを運んであげたりと、高齢者を気遣

う姿を見せた児童ら。自己紹介ではなかなか話せずにはいましたが、一つ一つゲームが進むたびに自ら話せるようになっていました。

交流を終え、児童代表の椎葉一翔さん(上里3)は「コインじゃんけんでコインを全部取られて悔しかったけれど楽しかった。おじいちゃん・おばあちゃん、元気いてください」と話し、高齢者らを代表して金山則子さん(68=下村)が「初めて参加したが、子どもたちと同じくらい楽しむことができた。心配りができる子どもたちに育っていて感心した」と感想を話しました。



1_ゲート通しでボールのゆくえを見守る
2_絵しりとり説明をする児童ら



1

1 物価高騰が続く中、生活を支援するために

One 永賣株式会社が「そうめん」と「いわしの甘露煮」を寄贈



「物価高騰が続く中で食品を寄贈いただき、ありがたい」と感謝した長谷和人町長

6月16日、永賣株式会社(黄怡伶代表取締役=東京都)から約100万円相当の「そうめん」と「いわしの甘露煮」が寄贈されました。

同社は社会貢献事業として、日本各地の豊かな食文化を守り育てるために設けられた表示基準「本場の本物」の認定品がある地域や、

災害で被災した自治体を支援する活動をしています。本町では下村婦人会市房漬加工組合の商品が「本場の本物」に認定されていることから、ことし1月に福祉車両の寄贈を、3月には教育支援として330万円の寄附を受けています。

今回はひとり親・生活保護・ひとり暮らしの高齢者世帯などの生活支援として「本場の本物」認定のそうめん1120袋と、いわしの甘露煮520袋が寄贈されました。寄贈された食品は小分けにして対象世帯に配付しました。



対象世帯からは「ありがたい」という声が多く聞かれました

2 災害発生時の動きを保護者らとともに確認

Two 湯前小・中学校合同で引き渡し訓練を実施



一方通行で1台ずつ体育館前に誘導し、児童生徒を引き渡し

6月20日、湯前小学校・中学校合同の児童生徒引き渡し訓練がありました。同訓練は災害が発生したときに児童生徒を保護者に安全に引き渡せるようにと計画。昨年までは小・中学校別々で訓練していましたが、合同の方が現実的であるとの考えから合同訓練に

変更されました。

児童生徒らは小学校体育館に集まり、名前を呼ばれるまで待機。両校の教職員らが「受付」「引渡」「生徒対応」「誘導」などの担当に分かれ、迎えに来た保護者らにドライブスルー形式で児童生徒らを引き渡しました。



帰る前に受付担当に報告する生徒

7 みんなで心を通わせる場に

Seven あゆみの会が七夕まつりを開催

7月2日、湯前町保健センターで「あゆみの会心の交流『七夕まつり』」が開かれました。障がいを持つ人と家族やボランティア、地域住民が心を通わせ、地域で支え合う関係をつくることを目的に開催されているまつりで、ことしで24回目を迎えました。

同会の会長を務める地内豊子さん(79 = 植木)が「皆さんが楽しみにしてくれるから続けてこれた。今日も楽しく笑顔で頑張ろう」とあいさつしてスタート。「ゆ



1

のまえ読み聞かせなすなの会」による読み聞かせや「アンサンブル楓」による音楽パフォーマンス、ゲームなどを通して、参加者全員で心を通わせました。

1_本の世界に引き込まれる参加者 2_参加者が短冊に願いごとを書いて飾り付け 3_音楽に合わせて体を動かす



2



3

8 園児たちが元気を与える

Eight 慈光こども園が地域住民との食事会を開催



1

7月11日、慈光こども園で「慈光レストラン」と題して食事会が開かれ、民生児童委員12人が年長児たちと一緒に給食を食べました。

同園ではコロナ禍の間、園児の家族、特に祖父母との交流ができなかったことから、ことし4月に慈光レストランを開始。月2回の開催で、はじめは園児たちの祖父母を対象としていましたが「地域の皆さんとふれあ



2

1_みんな笑顔に 2_園児たちが食べているおいしい給食を提供 3_準備の間も楽しくおしゃべり



3

い、交流を深めてもらいたい」という思いから、地域住民も対象に。第1回目は民生児童委員を招待しました。

園児たちは民生児童委員の皆さんと楽しくおしゃべりしながら食事。民生児童委員の皆さんも笑顔で会話を弾ませました。食事を終えた民生児童委員会副会長の那須清文さん(70 = 馬場)は「久しぶりに孫と一緒に食事をしたようで、うれしいし元気が出る。町内で同じような取組が増えれば、高齢者にも子どもたちにも良い影響を与えらると思う」と話しました。

慈光レストランは今後も地域住民を対象に開催される予定です。

5 今後の成長を楽しみに

Five 湯前小学校の5年生児童が田植えを体験

6月26日、上里区内の田んぼで湯前小学校の田植え体験があり、5年生児童が手植えや田植え機を体験しました。

田植えにはJA青壮年部湯前支部の農家が参加し、指導。児童らは田んぼの中で1列に並び、教わったとおり手植えをしていきました。慣れない田んぼの中の歩行で、足を取られて転びそうになる児童もちらほら。仲良きはしゃぎながら作業していました。田植え機の乗車体験ではまっすぐ進めるようにと、少し緊張しながら



1

らハンドルを握り、じっと前だけを見つめる真剣な姿も見られました。

田植えを指導した大谷友和支部長は「立派に苗ができていたので、私たちも成長を楽しみにしている」と児童らに話し、体験した児童らは「初めて体験したが楽しかった。手植えの大変さが分かった」「田植え機できれいに植えることができた」「農作物を作る楽しさや工夫、大変さを知ることができた」「米作りがこんなに大変だと思わなかった」などと感想を話しました。



2

3

6 夏の風物詩開催で笑顔

Six 湯前保育園で夕涼み会を開催

7月1日、湯前保育園で夕涼み会が開かれ、園児や保護者たちが参加。法被や浴衣を着た園児たちの、かわいらしい姿が見られました。

令和元年度以来4年ぶりの通常開催となった夕涼み会。保護者会長の澁谷秀明さん(37 = 下里)は「ウィズコロナの時代に、どのような形でバザーを開催するか役員で知恵を出し合いながら進めてきた。足りない部分もあると思うが、子どもたちを見るような温かい目で見てもらえれば」、東理絵園長は「子どもたちが本当に楽しみにしている夕涼み会を4年ぶりに完全復活できた。家族で楽しんでもら



1

2

3

1_上手にヨーヨーを吊り上げる 2,3_園児みんなで盆踊り 4,5_太鼓や歌、踊りでオープニングを盛り上げた

いたい」とあいさつしました。

はじめに園児たちは太鼓や歌を披露。みんなで盆踊りなどをした後にバザーに移りました。ヨーヨー釣りなどもあり、園児たちは家族との夏のひと時を楽しみました。



4

5

湯前歴史散歩

下里御大師堂の墨書を読む①

【用語の説明】

須弥壇…仏教寺院において本尊を安置する場所
 台鉋…材の表面仕上げに使う工具。現在で言う「かな」
 墨書…墨で書かれたもの



教育課 学芸員 松村 祥志

建築年代が確定

令和3年度に始めた下里御大師堂の解体保存修理が先月完了。これまで御大師堂の建築年代は、堂内の須弥壇が天正9（1581）年に作られていることや、台鉋が使用されていることなどを理由に、安土桃山時代〜江戸時代前期と考えられてきましたが、明確なものではありませんでした。ところが、今回の修理で建築年代を特定する重要な手掛かりが発見されました。発見された重要な手掛かりとは御大師堂に使われていた部材に記されていた墨書です。記されていた墨書は

書き残された和歌

墨書には続きがあります。「手もあし」ふてのたて□もしらね供事かきぬればかくてならん

奈須又左衛門 右田茂兵衛

※□は判読できない文字
 年号に続けて和歌らしきものが記されています。「手もあし」の「手」は文字のことで、「ふて」は、当時は濁点を使わなかったので「筆」と読むことができます。よくわからない部分もありますが「字も下手で筆の立て方も知らないが、ものを書こうと思えば書くことができる手なのだろう」という意味になるかと思われる。「奈須又左衛門」と「右田茂兵衛」は職人の名前と思われる。御大師堂の建築に携わった記念として、部材に和歌と名前を書き残したのかもしれませんが。

②に続く



延宝四年二月二日

手もあし

くふての

いくつになっても楽しめる趣味を見つけませんか？ 湯前町文化協会

現在、文化協会には12の文化部と11の生涯学習教室があります。趣味をつくり・楽しむことで、心身ともに充実した生活を送ることができます。ぜひ一緒に楽しみましょう。

※各部会・教室の情報は中央公民館にお尋ねください。

中央公民館 ☎0966(43)2050



部会 書道

ときには「書く」ことに没頭する時間も良いものです

現代はパソコンなどで、どんな書体の文字も簡単に書き出せる時代ですが、ときにはゆっくりと半紙に向かい、トントンスー。筆を操り表現するのも楽しいものです。子どもたちも継続のおかげで、びっくりするような字型・線質を書き出して、思わず拍手。日本の文字を大切に、豊かな心を育むことでしょう。（書道教育大書心会教室）



生涯学習 民謡

唄うことで親睦と理解を深め合い、健康に

熊本には子守唄や地域の民謡など、ふるさとの豊かな自然や歴史とともに育まれた、数多くの民謡が唄い継がれています。わが国の伝統文化である民謡を楽しく唄うことで、互いの親睦と理解が深まり、健康に過ごすことができます。今後もみんなで楽しく、大きな声で民謡を唄っていきます。

人のうごき

6月

人口:3551人 男:1679 女:1872

世帯:1531世帯 ※6月30日時点

結婚おめでとう

長谷 泰史(上村)
 木村 香織(大阪府大阪市)

誕生おめでとう

淵上 三葉(植木)
 駿・美弓
 園田 蒼依(田上)
 勇・由貴

ご冥福をお祈りします

黒木 ツギエ(田上)
 園田 ヒサノ(上里1)
 田浦 京子(福寿荘)
 溝辺 司(浅鹿野)
 右田 シズメ(浅鹿野)
 甲斐 光信(馬場)

香典返し

園田 廣善(上里1)
 田浦 圭一郎(上里3)
 溝辺 悦子(浅鹿野)
 右田 広美(浅鹿野)

NEWS 1

250作品・3700冊のマンガが読み放題
特別展「ゆのまえ学習マンガEXPO」開催中！

7月15日から始まった特別展「ゆのまえ学習マンガEXPO ～これも学習マンガだ！～」。夏休み期間ということもあり、多くの人に来場してもらっています。

「生命と世界」「多様性」など、11ジャンルに選出された全250作品・3700冊を超える“学習マンガ”が会場で読み放題！すべての世代が楽しみながら新たな世界に踏み出せる、素晴らしい作品がそろっています。湯前町民の皆さんは無料で入館できますので、ぜひ来場をお願いします。



↑常設展示室では250作品ものマンガがおもてなし。きっとお気に入りの作品が見つかります

NEWS 2

16点の入賞作品を選出
「学習マンガイラストコンテストin ゆのまえ」

特別展の関連イベントとして開催した「学習マンガイラストコンテスト in ゆのまえ」に応募してくれた小・中学生の皆さん、ありがとうございました！6月に開催した審査会では、小・中学校の校長先生に協力してもらい、小学校6点、中学校10点の入賞作品を選出。栄えある最優秀作品は次の2点です。



どの応募作品も“学習マンガ”を読んで学んだこと・感じたことが、すてきなイラストで表現されていました。全応募作品は特別展示室に展示中です。ぜひ特別展と一緒にご覧ください！

NEWS 3

有名マンガ家のトークショー 開催決定！
トークショー「学習マンガの新時代」サイン会も開催！

もう一つの特別展関連イベントとして、8月19日に有名マンガ家を招き、トークショー『学習マンガの新時代』を開催します。登壇者は、日本のマンガ界をけん引し「これも学習マンガだ！」の選書委員長を務めた少女マンガ家・里中満智子先生、先日最新刊の166巻が発売されたばかりの『クッキングパパ』作者・うえやまとち先生、ベトナム戦争マンガ『ディエンビエンフー』作者・西島大介先生の3名。さらに「これも学習マンガだ！」プロジェクトの主催者である一般社団法人マンガナイト代表・山内康裕さんをゲストに加え、新しい“学習マンガ”について話を伺います。



トークショー
「学習マンガの新時代」

- 開催日時：8月19日(土)
13:30～15:30
- 開催場所：農村環境改善センター大集会場
- 定員：150人(先着順)
- 申込方法：専用フォームから申し込み

★サイン会
トークショー後、うえやまとち先生 & 西島大介先生のサイン会を開催！
※各20人抽選



申込専用フォーム

よりぬき/
りょうすけギャラリー

開催中の展覧会から、おすすめの作品を紹介！



『これならおぼれまい』 『吉田から岸へ』(1959年1月)掲載
那須良輔の風刺漫画原画展(特別展示室) ※12月3日まで

那須先生のことば

講和会議に、はじめ吉田首相は行きたがらなかった。そのため主席全権に佐藤参議院議長、野村吉三郎氏らの名があげられたが世論はしだいに首相の出馬を希望するようになったので、首相もついにおみこしをあげる決意をした。— 『吉田から岸へ』(1959年1月)より



故 那須 良輔 先生

那須先生の作品画像を無料で利用可能

まんが美術館に収蔵されている那須先生の作品画像を商品やポスターに利用できます。商用・非商用を問わず無料で利用可能。利用したいときは申請書を教育課に提出してください。くわしくは教育課に問い合わせるか、まんが美術館ホームページで確認してください。 教育課 ☎0966(43)2050



『無題』



高橋 颯希 隊員



中尾 章太郎 隊員

SNS でまんが美術館の最新情報を発信中。ぜひフォローをお願いします！
(アカウント)@yunomae_manga



Twitter Instagram

本の世界

今月のおすすめ

中央公民館図書室 ☎0966 (43)2050

【平日】8:30～17:00

【土日・祝】9:30～17:00

思い出が
消えないうちに川口 俊和(著)
サンマーク出版

伝えなきゃいけない思いと、どうしても聞きたい言葉がある。心に閉じ込めた思い出をもう一度輝かせるために、不思議な喫茶店で過去に戻る4人の物語。昨年、本町で最も貸出された「さよならも言えないうちに」のシリーズ本です。

ヒロシマ消えた
かぞくのあしあと指田 和(著)
ポプラ社

「8月6日、広島で起きた悲劇を忘れない」。戦前・戦中・戦後の家族や、亡くなった家族、生き残った家族、今を生きる家族など「かぞく」をキーワードに、戦争・平和・命について問い続ける著者、指田和の活動のノンフィクション。

学校に行きたくない
君へ棚園 正一(著)
ポプラ社

人生に「正解」なんてない。私たちは、こうして「自分の生き方」を見つけた。不登校・いじめを経験した先輩たちが語る生き方のヒント。ロングセラー『学校に行きたくない君へ』の姉妹編。子どもの不登校を経験した親御さんのエピソードも収録。

句集 一人十色

梅沢 富美男(著)など
ワニブックス

役者・女形・歌手・コメンテーターなど、たくさんの役を担ってきた梅沢富美男さんが、人生に思いをはせて作りあげた句集。長年、番組で楽しいバトルを繰り広げている夏井いつき先生のために赤ペン添削も掲載。俳句を詠みたくする一冊です。

保健

健康でいるために生活習慣の見直しを
放っておくと大変な『メタボリックシンドローム』

『メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)』とは、①内臓に脂肪が過剰についている+②血圧・血糖・脂質などに異常がある状態のことを言います。放っておくと動脈硬化が進み、血管がもろくなって詰まったり破れたりする脳血管・心臓血管疾患などの大きな病気になります。生活習慣病である高血圧症や糖尿病、脂質異常症などになる可能性も高まります。

運動不足や食べすぎ、偏った食事、睡眠不足などといった悪い生活習慣の積み重ねが原因であることがほとんど。メタボリックシンドロームの予防や改善には、毎日の食事内容や量、運動と休養のバランスなどの生活習慣を見直していくことが大切です。

■メタボリックシンドロームの診断基準

(単位の読み)

cm:センチメートル mmHg:水銀柱ミリメートル mg/dL:ミリグラムパーデシリットル

必須項目	腹囲	男性:85cm以上 女性90cm以上
選択項目	①血圧	次のどちらかだけでも当てはまる ・収縮期血圧値が130mmHg以上 ・拡張期血圧値が85mmHg以上
	②空腹時の血糖値	110mmHg/dL以上
	③脂質	次のどちらかだけでも当てはまる ・中性脂肪が150mg/dL ・HDLコレステロールが40mg/dL以上

※選択項目は3項目のうち2項目以上該当でメタボリックシンドローム。1項目該当は予備群

看護師 黒木 明美

栄養

あなたが使っているエコバッグは清潔ですか？

日ごろからのお手入れで食中毒予防



買い物のときのレジ袋や紙袋が有料になってから、エコバッグを使用することが多くなったと思います。

エコバッグを使用した後、目につく汚れや臭いがなく

ても、知らぬ間に肉・魚の汁や野菜の土などが付着していることがあります。夏は雑菌などが繁殖しやすい季節。汚れやごみが付いたままの状態を使い続けると、雑菌が繁殖して新たに買った食品に菌が付着し、食中毒の危険性も出てきます。

日ごろからのお手入れでエコバッグを清潔に保ち、賢く楽しく買い物を楽しみましょう。

環境

きれいに洗ってから出しましょう

ペットボトルのリサイクル

暑くなるにつれ、リサイクルステーションに出されるペットボトルの量が増えています。中には汚れたままで出されているものも。きれいな状態でないとリサイクルできませんので、きれいに洗ってから出すことを心がけましょう。



■有害ごみ置き場に不燃物を出さないでください

有害ごみ置き場に出せるものは次の3つです。くわしくは保健福祉課にお尋ねください。

①乾電池(水銀使用・ボタン型・コイン型) ②水銀使用の体温計・温度計

③蛍光管

■「3切る運動」でごみの減量を！

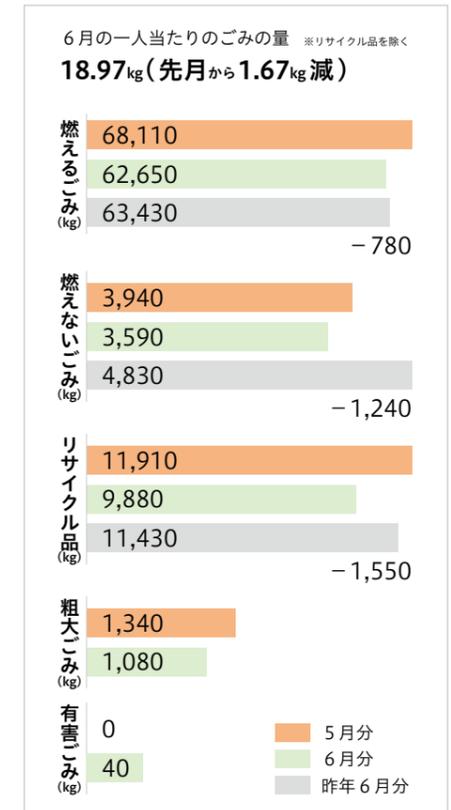
まちがごみ処理のために支払う金額は、ごみの重さで決まります。できるだけごみを軽くするために「食材を使い切る」「料理を食べ切る」「生ごみの水を切る」の3切る運動に協力をお願いします。

■日ごろから気を付けたいポイント

- ①エコバッグは定期的に洗う
- ②肉や魚、野菜はポリ袋に入れてからエコバッグに入れる
- ③肉や魚、冷蔵・冷凍食品などの冷たい物はまとめて入れ、温かい物と密着しないように入れる
- ④食品と日用品を入れるエコバッグを分ける
- ⑤食品を入れたエコバッグの持ち運びは短時間にする

管理栄養士 田中 朋子

(参考：農林水産省ホームページ)



8月の不燃物収集は

2日・16日(第1・3水曜日)

つなぐゆのまへ - 人権のひろば -

女性の人権



「女性の人権」数字で見ると…

●世界経済フォーラム・日本のジェンダーギャップ指数(2023年6月)

日本:125位/146カ国

※経済・教育・健康・政治の分野で男女格差を数値化したもの

●内閣府世論調査「社会全体で見た場合の男女の地位は平等になっていると思うか?」という質問に対する回答率(2022年11月)

男女平等になっていると思う:14.7% 男性が優遇されていると思う:78.8%

女性の地位向上

女性の地位向上は、かなり前から世界共通の人権課題となっています。国連では1975年を「国際婦人年」と定め、続く10年間を「国連婦人の10年」とし、女性の問題への認識を深める活動を各国に推

熊本県人権教育・啓発基本計画では、人権の重要課題として「女性の人権」をはじめとする13項目を設定し、課題解決に取り組んでいます。今回からは13の重要課題を一つ一つ取り上げていきます。

奨。1979年には「女子差別撤廃条約」が、1993年には「女性に対する暴力の撤廃に関する宣言」が採択されるなど、女性の地位向上に向けたさまざまな取組が国際的に進められてきました。
日本も国際的な動きに合わせながら、女性の人権課題の解決を目指していろいろと取り組んできましたが現実には厳しいものがあります。
課題は…
①「性差別意識」や「固定的性別役割分担意識」によって、女性の「生きる」「働く」「学ぶ」「健康」をめぐる権利が十分保障されていないこと。
※1 性別の違いを理由に、自らの能力や個性を制限されたり否定されたりする考え方
※2 1 「男は仕事、女は家庭」「男性の業務、女性の業務」という風に、性別を理由に役割を固定的に分ける考え方
② ①の2つの意識が女性の人権を侵害するさまざまな問題につながっていること(セ

社会全体で着実に

「女性問題」とは女性だけの問題、また、女性に問題があるのではなく、男性も含めた社会全体が動かなければならない課題です。男女共同参画という新しい生活スタイルを目指して一つ一つ着実に行動すること、みんなが「女性問題」についてももう一度考え直すことが必要です。

まずは家庭や職場、地域といった身近なところで、女性も男性も優しく支え合い、喜びも責任も分かち合う社会をつくり、みんなの幸せを築いていきましょう。



地域人権教育指導員 たつき 窪田 龍記

編集後記

▼中体連に郡民体育祭と、スポーツづくしの1カ月でした。うだるような暑さとガラガラと照りつける日差し。写真を撮っているだけの私でも倒れそうになる天候の中「みんなよく動けるな」と感心しながら、シャッターを切っていました。
▼まだまだこれからが夏本番。外での活動も増えていきます。軽く考えず、きちんと熱中症対策をしてから元気に活動しましょう。室内での熱中症にも、お気をつけを。(右)



スマートフォンアプリ「マチイロ」でも広報湯前を読むことができます。

※アプリのダウンロード・登録は無料、通信料は利用者負担

婦人会だより - Women's Association -

ことしもタオルの寄附とボランティア作業をしました

6月15日に湯前小・中学校・慈光こども園・湯前保育園を訪問し、会員から集めたタオルを寄附しました。ほかにも、B&G 海洋センター・特別養護老人ホーム福寿荘・高齢者福祉センター「湯愛」・中央公民館・保健センターに寄附しました。

7月16日にはボランティア活動として、福祉センター「湯愛」の除草作業をしました。1時間の作業で駐車場周辺をきれいにすることができました。



地域婦人会 会長 苗床 由美

B&G活動 - Sports -

海洋クラブの活動開始！ごみ拾いで汗を流してプールへ

6月3日に海洋クラブ開講式と海ごみゼロフェスティバルを開催しました。初めに体育館でごみについて勉強し、B&G 財団のキャラクター「アンドリーくん」と「ラブリちゃん」が描かれた『着られるエコバッグ』をみんなで着てグリーンパレス周辺のごみを拾いました。

ごみ拾いの後はプールに入り、水辺の安全学習として命を守るためのラッコ浮きやアクティビティを体験しました。

夏休みに入り、海洋クラブは湯前を飛び出して海でカヌーやSUP体験をしたり、県内海洋クラブの子どもたちと交流したりしています。水辺での活動を通して子どもたちとの交流が増えることが毎年の楽しみです。



B&G 海洋センター 安井 佳奈

災害発生時などに地域で協力して高齢者に対応 上球磨地域介護事業所連絡会が協力協定を締結



協定は同連絡会と3町村、17法人で締結

7月4日、上球磨地域介護事業所連絡会は地域の高齢者らの安心・安全を守るために連携をさらに強化しようと、災害時などでの協力協定を会員間で締結しました。

同連絡会は令和2年7月豪雨災害をきっかけとして、湯前町・多良木町・水上村・3町村内のすべての介護施設や事業所46カ所、同3年度に発足。関係機関の連携強化や地域包括ケア体制の推進などに向けた取組の充実を目的に活動しています。

今回の協定は、大規模災害や感染症などの流行が発生したときに、地域の関係機関が連携協力して高齢者に対応できる体制を構築するとともに、災害発生時に不足する備品の貸し出しや資材・備蓄品の提供、職員派遣や利用者の受け入れ、避難所対応、情報共有など、会員間でスムーズに協力できるよう締結。

公立多良木病院企業団の高

森啓史企業長は「大規模災害やさまざまな感染症などに備えるため、地域で協力し連携して対応していくことができない体制をつくるのが重要な課題。本協定の締結は、課題の解決につながる第一歩になるのではないかと考えている」とあいさつ。署名者を代表してあいさつした中嶽弘継水上村長は「災害発生時、それぞれの事業所だけで対応するのは大変で、広域的な連携が必要。今回の協定締結を機に、有事のときには有機的な活動ができれば」と話しました。



締結式では代表して4者が署名

町民憲章 Town's People Charter

- 一.健康で心豊かなまちをつくりましょう
- 一.平和・勤勉・明朗なまちをつくりましょう
- 一.自然を人を郷土を愛するまちをつくりましょう
- 一.活力があり未来あるまちをつくりましょう

私たちは湯前町民であることに誇りを持ち、豊かで明るく住みよい町にするために町民憲章をここに定めます。

8月の表紙

おいしいね

7月11日に「慈光レストラン」と題して開かれた食事会。招待された民生児童委員の皆さんと一緒に園自慢の給食を食べました。「みんなで食べるとおいしいね」という言葉がよく似合うひと時となりました。



撮影場所 慈光こども園